



卒業アルバムより

## 10組担任 田中 格先生の思い出



筆者：近影



卒業アルバムより

佐藤 彰

- 親父が父兄面談に行った。  
格さんが「どこの大学へ行かせたい？」 親父は即「早稲田です」  
あとで、格さんが俺に「佐藤、お前んところには早稲田にコネでもあるのか？」  
親父に「なんで？」と聞くと、「俺は大学と言え、東大、早稲田、慶応しか知らない。東大は無理だろうから、早稲田にしといた」
- 受験の結果、国立と早稲田に合格した。親父がお世話になっている小諸の長老に「国立は授業料が安いので行かせようと思う」と報告すると「お前のところは子供が一人じゃないか。高くても俺と同じ早稲田にしろ」 大先輩の長老に感謝。  
格さんに伝えると「佐藤、よかったな」
- 昨年10月、コロナ禍により2年遅れた大学卒業50年のホームカミングデーがあり、妻と出席した。  
変わったものも、変わらぬものも懐かしかった。
- 妻は69期。  
妻からのメッセージ「田中先生はいつも廊下を足早に歩いてた。スーツはサイドベンツがお好みだった。ある日のこと、その着こなしが余りに爽やかでキリリとしているので、見とれてると、『俺の生徒じゃねえな』とばかり、一瞬で視線を外された。  
格先生お見事でした」